

Sony Smart Golf Lesson
それはゴルフレッスンの概念を変える新時代の最強ツール。



かつて動画解析というのは、理想とするトップ選手たちの美しいフォームに近づけるために使われていました。しかし、今はデータ解析の時代。それで明確になったのは、選手個々、力を最大発揮できるフォームやテンポが異なることでした。大切なのは個性を生かしつつ、インパクトゾーンをスクエア化して、ボールコントロール技術をトレーニングすること。「スマートゴルフレッスン」で現在のインパクトゾーンの動きを解析し、スイングフォームとともに目指す方向性を考え、取り組むことが効率的な上達に導くのです(阿河コーチ)。

個性を磨いていきたい
「スマートゴルフレッスン」で



解説 阿河徹プロコーチ
あがとのお、男女ツアーでトッププレイヤーのパフォーマンスを支える日本有数のプロコーチ。

先行回転する上半身 (フェード動作)

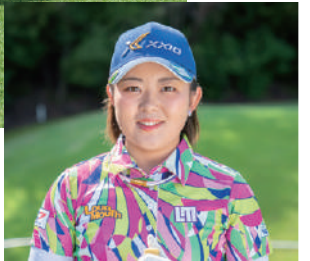
クラブを背後からインから入れる動き (ドロー動作)

3D軌道解析データではカット軌道に見えがちだが、プレーヤー自身の抱くフォームイメージは違うものとなっているはずだ。インパクトゾーンでスクエアヘッドに戻すためにどういった動作をしているか、動きとデータを擦り合わせながら解析していくことが大事だ。

フェード+ドローの動きを相殺して生み出すスクエア軌道

浅井咲希プロ

あさいさき、1998年6月13日生まれ、兵庫県出身、小杉CC所属。平均飛距離：242.48ヤード 球筋：ドローボール



Scene 05
黄金世代・浅井咲希プロの
ドライバー
スイングを
検証

女子ツアーを牽引する黄金世代のスイングをスイング解析ツール「スマートゴルフレッスン」で検証。今季CAT Ladiesで初優勝を飾った浅井咲希プロをピックアップ！
撮影：田中宏幸

ボールをフェースに乗せていける左のリスクがないドローヒッター

「スマートゴルフレッスン」の解析データではほぼストレートな軌道でアタックしていますが、開く、閉じるという動きの相殺で生まれるスクエア軌道だと言えるのです。

上半身の回転を先行させ、クラブを背後から入れるような動きは、インから入れても過度にインから入り過ぎず、またクラブヘッドの入射角は5〜6度に安定して、かちあがるようなアップバーにもなりにくいため、左サイドのミスのリスクは、浅井選手はほぼ感じていないはず。

結果、インパクトゾーンが長くなり、ボールをうまくフェースに乗せていける、ボールコントロール技術に優れたスイングだと言えます。

簡単セルフチェックで練習クオリティを上げよう!

Sony Smart Golf Lesson



自動連続測定可能で
スイング要素以外は自動削除

「スマートゴルフレッスン」は1球1球のスイング解析ではなく、スイング動画とデータを可視化できるツール。ショット毎に仕切り直しが必要なく、スイング以外の動画要素は自動削除をアプリがしてくれるため、ストレスなくセルフチェックできます。

「スマートゴルフセンサー」はソニーストアから購入ができます!
●価格 / 35,980円+税



ソニー ゴルフ 検索

専用アプリダウンロード!
iOS、Android対応 一般用アプリ
「Smart Golf Lesson」は無料(ティーイングプロ用の「Smart Golf Lesson Biz」はiOSのみ対応。別途お申し込みが必要となります)